

1. アプリケーション概要

CueBoard(キューボード)は、プレゼンテーションの練習および本番発表をサポートするWebアプリケーションです。

スライドの表示、進行台本（スクリプト）の閲覧、タイムマネジメントを一画面で完結させることができます。

主な機能

- ✓ **スライド表示:** PDFまたは画像ファイルを読み込んで表示
- ✓ **台本管理:** スライドまたはセクションごとの台本表示（Markdown対応）
- ✓ **タイムキーパー:** 発表時間タイマー、セクションごとの進捗管理
- ✓ **2画面表示:** 発表者用画面と聴衆用画面（別ウィンドウ）の分離
- ✓ **振り返りログ:** 練習後の時間配分分析

2. クイックスタート（まずは使ってみる）

1. スライドを読み込む

- ✓ 画面右上の「」ボタンをクリックするか、画面中央にPDF（または画像ファイル）をドラッグ&ドロップします。

2. 台本を入力する

- ✓ 画面左上の「 編集」タブをクリックして編集モードに入ります。
- ✓ 台本エリアにテキストを入力します（全体の台本、またはセクションごとの台本）。

3. 時間を設定する

- ✓ 画面右下のタイマー設定欄に発表時間（例: 25分）を入力します。

4. 発表を開始する

- ✓ 「🗨️ 発表」 タブに戻ります。
- ✓ 「▶ 開始」 ボタン（またはSpaceキー）でタイマースタート。
- ✓ 「次 ▶」 ボタン（または矢印キー）でスライドを進めます。

3. 画面構成と機能詳細

A. ヘッダーエリア

画面上部のバーにある機能です。

アイコン/項目	説明	ショートカット
モード切替	「🗨️ 発表」と「✎️ 編集」モードを切り替えます。	M
プレゼン選択	保存済みのプレゼン設定を切り替えます。	-
現在時刻	現在の時刻を表示します。	-
🌙 テーマ	ダーク / ライト / 高コントラスト の3テーマを切り替えます。	Shift + T
🖥️ 別窓	聴衆に見せるためのスライド専用ウィンドウを開きます。	P
📁 ファイル	スライド（PDF/画像）を読み込みます。	-
⚙️ 設定	データの保存・読込、履歴確認などを行います。	-
? ヘルプ	簡易ガイドとショートカット一覧を表示します。	?
🖥️ 全画面	ブラウザを全画面表示にします。	F

B. 編集モード (✎️ Edit Mode)

プレゼンテーションの構成を作成する画面です。

1. セクション管理

プレゼンを章（セクション）ごとに区切り、時間配分とスライド範囲を設定します。

- ✓ **セクション名:** 「導入」「本題」「Q&A」など名前をつけます。
- ✓ **スライド範囲:** そのセクションで話すスライド番号の「開始」と「終了」を指定します。

- ✓ 設定すると、発表中にスライドをめくるだけで自動的にセクション情報が切り替わります。
- ✓ **時間（分）**：そのセクションにかける目標時間を設定します。

2. 台本設定

台本の表示形式を2パターンから選べます。

- ✓ **全体で1つの台本**: どのスライドでも同じ長い台本を表示します（スクロールして使用）。
- ✓ **セクションごとに台本を設定**: セクションの設定ボタンから入力します。スライド移動に合わせて、そのセクションの台本が自動表示されます。

💡 **ヒント**: 台本はMarkdown記法に対応しています。

- ✓ # 見出し で大きく表示
- ✓ **強調** で太字
- ✓ - リスト で箇条書き

C. 発表モード (🗨 Present Mode)

本番および練習で使用する画面です。

- ✓ **メインスライド**: 現在のスライドが表示されます。
- ✓ **サムネイル**: 下部にスライド一覧が表示され、クリックでジャンプできます。
- ✓ **進行台本（右サイドバー）**：設定した台本が表示されます。文字サイズは自動調整されます。
- ✓ **次のスライド**: 次に表示されるスライドのプレビューが表示されます。

D. フッターエリア (タイマー&進捗)

- ✓ **セクション進捗（左側）**：
 - ✓ 現在のセクション名と、そのセクションの経過時間／目標時間を表示します。
 - ✓ 目標時間を過ぎると時間が赤色になります。
- ✓ **メインタイマー（中央）**：
 - ✓ **タイマーモード**: 設定時間からのカウントダウン。

- ✓ 残り5分で黄色、残り1分で赤色に変化します。
- ✓ 0になると終了音が鳴ります。
- ✓ **ストップウォッチモード**: 0からのカウントアップ。
- ✓ **効果音（右側）**:
 - ✓ 🔔: チーンというベル音を鳴らします。
 - ✓ 📢: ブザー音を鳴らします。

4. 便利な機能

プレゼン画面（2画面表示）

プロジェクターやWeb会議の画面共有用に、スライドだけを表示するウィンドウを作成できます。

1. ヘッダーの「」ボタン（またはキーボードの P）を押します。
2. 新しいウィンドウが開きます。このウィンドウを外部モニターやプロジェクターに移動させて最大化してください。
3. 手元の操作画面でスライドをめくると、別ウィンドウも連動して切り替わります。

データの保存と復元（設定 ）

データはブラウザ内（LocalStorage）に自動保存されますが、別のPCに移動する場合などはファイルとして書き出せます。

- ✓ **エクスポート**: 設定メニューの「 エクスポート」からJSONファイルをダウンロードします。
- ✓ **インポート**: 設定メニューの「 インポート」にJSONファイルをドロップします。
- ✓ **注意: スライド画像（PDF）自体は保存されません。** 次回起動時、スライドが表示されない場合は再度PDFを読み込んでください（設定や台本は保持されています）。

振り返りログ

発表練習が終わったら、設定メニューの「 振り返り」タブを確認してください。

- ✓ 予定時間と実際にかかった時間のズレ
- ✓ セクションごとの超過時間
- ✓ 長く滞在したスライドTOP5

などが確認でき、Markdown形式のレポートとしてダウンロードも可能です。

5. キーボードショートカット一覧

キー	動作
→ / Space	次のスライドへ（フォーカス時など）
←	前のスライドへ
Space	タイマーの開始 / 一時停止
M	発表モード / 編集モードの切替
P	プレゼン用別ウィンドウを開く
T	タイマー / ストップウォッチ切替
R	タイマーリセット
Shift + T	カラーテーマ切替
E	クイック台本編集
F	全画面表示
?	ヘルプ表示

6. よくある質問 (FAQ)

Q. PDFが読み込めません。

A. PDFファイルがパスワード保護されていないか確認してください。また、非常にページ数が多いPDFは処理に時間がかかる場合があります。

Q. 画面を閉じたらデータは消えますか？

A. 台本やセクション設定はブラウザに保存されるため、次回同じブラウザで開けば復元されます。ただし、画像データ（PDFの中身）は容量の都合上保存されません。次回利用時に再度同じファイルを読み込んでください。

Q. オフラインでも使えますか？

A. はい、一度ページを開けば、以降はオフラインで動作します。サーバーへのデータ送信は一切行いません。

Q. セクションの設定で警告が出ます。

A. 「スライド範囲」が他のセクションと重複している場合に警告が出ます（例: セクション1がp.1-5、セクション2がp.4-10など）。重複している場合、リストの上にあるセクションの設定が優先されます。

7. 動作環境・仕様

対応ブラウザ

本ツールは以下のモダンブラウザ（最新版）に対応しています。Internet Explorerには対応していません。

- ✓ Google Chrome (PC / Android)
- ✓ Microsoft Edge
- ✓ Safari (macOS / iOS)
- ✓ Mozilla Firefox

スライドファイルの仕様・制限

- ✓ **対応フォーマット:** PDFファイル (.pdf)、画像ファイル (.jpg, .png, .webp など)
- ✓ **サイズ上限:** アプリケーション側での厳密なサイズ制限はありませんが、お使いのブラウザのメモリ容量に依存します。
- ✓ **画像処理:** 取り込まれたスライドは、パフォーマンス確保のため内部で**最大1920x1080 (フルHD相当)** に自動的にリサイズ・圧縮されます。
 - ✓ **推奨:** 1ファイルあたり10MB程度、解像度はフルHD程度のファイルを使用するとスムーズに動作します。

8. 運営・免責事項

注意・免責

本ツールは一般的な情報提供・自己紹介の補助を目的としています。ソースコードの再利用・複製・配布は禁止です。

商標

記載の名称は各社の商標または登録商標です。

© RE:SML

お問い合わせ

運営：RE:SML

メール：infomail@resml.tokyo